6月　園だより

令和５年６月１日
北区立清水坂保育園

いつも保育園の運営にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。さらに、保護者の皆様には、懇談会等でお時間を取っていただき、ありがとうございました。より多くの皆様の声を保育に反映できるよう職員一同　力を合わせていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

鳥の声がカエルの声に変る季節。雨の日には、「雨はどこから来るんだろう？」と空を見上げる子ども達の姿がとても可愛らしく愛おしい時期です。プール・水遊びの前で、「水を大切に～」とお話しをすると、子ども達は真剣に聞いてくれます～水遊びが大好きだから。同じように地球が大好きだから…水を大切にしよう、となってくれると嬉しいです。

水循環のプロセスが、太陽エネルギーと重力によりとめどなく繰り返されているように、子ども達の成長に関わっていきたいです。

園長 [redacted]

今月の予定

[redacted]日(月)～[redacted]日([redacted])　[redacted]歳児個人面談
[redacted]日([redacted])　身体測定
[redacted]日([redacted])　[redacted]歳児保護者懇談会
[redacted]日([redacted])　プール開き
避難訓練　未定

7月の予定

[redacted]日([redacted])　身体測定
[redacted]日([redacted])　七夕
避難訓練　未定

～給食変更のお知らせ～

1・15・29（木）	⇒	2・16・30（金）
2・16（金）	⇒	1・15（木）
7・21（水）	⇒	9・23（金）
8・22（木）	⇒	7・21（水）
9・23（金）	⇒	8・22（木）
30（金）	⇒	29（木）

≪新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ≫
５月８日に新型コロナウイルス感染症が５類に移行されました。それに伴い２点お知らせします。

1.登園基準
- 新型コロナウイルス感染症
  発症した後５日を経過していて、さらに症状が軽快した後１日を経過していること
  ＊無症状の場合は、検査した日を０日目として、５日を経過していること
  ＊発症日、軽快日を０日目として、その翌日から数えてください

2.医師の意見書
- 新型コロナウイルス感染症、インフルエンザともに罹患後の登園時は提出をお願いします。
- 医師の意見書は、北区のホームページからダウンロードすることもできます。
  トップページ> 保育園 > 在園に関する書類 >
  保育園 医師の意見書（登園許可書）について

≪EMS≫
清水坂保育園では四季や自然をより身近に感じられるよう、保育の中で、見たり、触れたりする機会を沢山つくっていきます！
５月には昨年友だちになった水玉レンジャーとさらに仲良くなれるように幼児集会の中で紙芝居を読みました。おはなしを通して自分たちが住んでいる地球について知り、昨年芽生えた興味がさらに深まりました。
これからも立ち止まって一緒に考えることで『地球に優しい心』や『豊かな感性』を育んでいってほしいと思います。

水玉くんを各クラスの水道に貼りました。
いつも子ども達を見守っています！

クラスだより

～どんな風に育つかな？～

１歳児 [redacted]組

「お外にいこう」と声を掛けると、自分から玄関に向かっていくほど園庭が大好きになった子ども達。天気のいい日にはたくさん探索を楽しんでいます。

いろいろな色や形の草花は、子ども達にとってとても魅力的。じーっと眺めたり、指先でちょんちょんと触れてみたり、そっとつまんでみたりしています。

子ども達が興味をもって見たり触れたりできるように、色や種類を選びながら植え、育てている草花です。目や手に触れられるように子ども達の目線に合わせて場所も工夫してきました。

これからもそんな園庭で自然の変化も五感でたくさん感じていってほしいです。

２歳児 [redacted]組

園庭に出るとすぐに花だんへ行き、蝶を追いかけたり、花を見たりしている子ども達。

一番のお気に入りはイチゴ。葉っぱの裏を下から何度ものぞき込み、実ができるのを待っていると、ようやく発見。「あった！」と大喜びで教えてくれたのですが、まだ緑の実をみて不思議そうな顔。「これから赤くなって甘くなるんだよ」と保育士が伝えると、園庭に出る度にイチゴを気にかけるように…。時には待ちきれずに、まだ緑のうちにプチッと取って、大切に握りしめていたり、バケツに入れていたりすることもありました。

イチゴが沢山の光を浴びて赤くなったのを見た時の子ども達の笑顔はとても輝いていました。

今年はイチゴが豊作でした。次は何が人気になるのか、とても楽しみですね。これからも子ども達の気づきや思いを大切に、自然に触れて行ければと思います。

３歳児 [redacted]組

園庭に出ると、花だんへ行って様々な草花を見たり、触れたりして遊んでいる子ども達。ぱんだ組では、マリーゴールドとおもちゃかぼちゃの種をまきました。

種を渡すと、じっくり観察したり触ったり匂いをかいだり。特にマリーゴールドの種は、細長い形をしているので、「これ種？」「長いね～」とびっくりしていました。種のまき方を真剣に見て、みんなでまくと「大きくなるかなぁ？」と、楽しみにしている子も。その後はジョウロで水やりをしました。「大きくなあれ！」「大きくなあれ！！」「がんばぁれ！」と声を掛けたり、手拍子をしている子もいて、まるで応援団のようでした！

芽が出て伸びて…どんな風に生長していくのか、楽しみにしている子ども達。みんながどんな発見をして、どんな反応をするのか、私たちもわくわくしています！

４歳児 [redacted]組

４月の終わり、突然[redacted]組に仲間入りしたおたまじゃくし。毎日水槽をのぞき「あっ！足が出てきた！」「頭が大きくなってる！」などとちょっとした変化に気付き、かわいがってきました。ある日「おたまじゃくしってカエルになるの？」との疑問から「そうだ！調べてみようよ！」と図鑑を広げた子ども達。「足が先に出るんだね」「ごはんを食べるんだって」「かつおぶしってなあに？」「（カエルの）口がふくらんでるー！」と色々なことを知りました。本物のおたまじゃくしと見比べては、「同じだね」「本当だ！すごいね！」と嬉しそうに話していました。

成長し、ほぼカエルになったおたまじゃくしは、ふる里の池に帰っていきました。これからも身近な生き物や植物に触れ、驚きや喜び、不思議さなど色々な気持ちを経験して欲しいと思います。